

施策 3

「生きる・働く・学ぶ」をつなぐキャリア教育の推進

<主な取組>

- 3-① 小・中・高等学校から大学等、そして就職までのつながりや将来の生き方を意識したキャリア教育の充実に取り組みます。
- 3-② 学校、家庭、大学、地元企業等が、それぞれの役割の下で連携したキャリア教育支援の仕組みづくりを推進します。
- 3-③ 若者の就業意識や起業意識の醸成、職場定着を意識した県内企業への就職支援に取り組みます。
- 3-④ 産業界との連携による地域の産業・生活を支える担い手（職業人）の育成に取り組みます。
- 3-⑤ 医療従事者を目指す中学生・高校生の増加に向けた取組を支援します。

<主な事業等>

主な取組	事業等名	R7決算額 (千円)	取組内容・評価（●…事業概要 ▶…具体的内容・実績・評価等）
3-①	県立学校就職促進関連事業	1,164	● 生徒の就職促進に向けた体制整備のため、高校就職促進連絡会議を開催するとともに、特別支援学校産業現場等における実習促進のための事業所等の事前打ち合わせや巡回指導等を実施する。 ▶ 新規学校卒業者就職問題連絡協議会において、県こども家庭部、青森労働局、経済団体、PTA団体、学校関係団体等の関係機関とともに、新規学校卒業者の応募・推薦に係る方法や選考開始期日、就職慣行の在り方等について協議。1年間連携・協力した関係機関と意見交換したことで議論が活性化した。 ▶ 産業現場等における実習を円滑に実施するための条件整備を行った（実施事業所621、実習実施641名、延べ実習回数1,133回）。令和7年度の新規事業所は138であった。各学校の産業現場等における実習の条件整備がスムーズに行えるように今後もできる限り早い段階で計画することが必要である。
3-①	特別支援学校における「好き」を見つける学びの充実支援事業	2,923	● 特別支援学校で学ぶ全ての児童生徒の自立と社会参加を促すため、地域との連携により、児童生徒一人ひとりの障がいの状態に応じた文化芸術・スポーツ・社会体験等の体験活動や、地域課題の解決に向けた探究的な学習活動を実施する。 ▶ 地域資源や人財を活用し、体験活動や校外学習を通じて児童生徒の興味を広げ、生涯学習への意欲を高める多様な学習活動に対する支援を20校で実施。児童生徒の興味・関心の広がりや主体的な学びの深化、自己肯定感や社会参加への意識の向上につながり、地域連携やキャリア教育の充実に図られた。一方で、指導体制や学びの継続性、個に応じた支援の充実等に課題が見られるため、引き続き取組の充実に図る必要がある。

施策3

「生きる・働く・学ぶ」をつなぐキャリア教育の推進

主な取組	事業等名	R7決算額 (千円)	取組内容・評価（●…事業概要 ▶…具体的内容・実績・評価等）
3-②	地域に根ざした キャリア教育推進 事業	580	● 企業・NPO・各種団体・地域住民等の関係者が、学校のキャリア教育について相互に理解を深め、研修会等を行い、地域に根ざしたキャリア教育が推進されるための環境整備を進める。 ▶ 研修会やフォーラムでは、講義や意見交換を通じてキャリア教育の意義や役割についての理解が深まった。また、キャリア教育支援に携わっている企業や地域住民の思いを共有することにより、多くの参加者が自分ごととしてキャリア教育推進のための関わり方について考える機会となった。また、「我が社は学校教育サポーター」に登録し、キャリア教育支援に協力したいという新規登録企業が増加した。今後は、地域全体が一体となった教育支援体制を整えるため、持続可能なキャリア支援ネットワークの構築と、企業による教育支援活動の意欲喚起及び学校の活用促進に取り組む必要がある。
3-③ 3-④	高校生のキャリア 総合支援プロ ジェクト事業	58,234	● 高校生の県内就職率の向上を図るため、県内就職に関する情報提供やキャリア教育を支援するためのキャリアサポートスタッフを配置するとともに、キャリア形成のための講座や研修会を開催する。 ▶ キャリア形成講座（23校50講座）・研修会（7校7講座）・職業体験活動（11校）、介護員養成講習会（33名受講）、先進技能習得研修（7校7研修）を実施。県内12校へキャリアサポートスタッフを配置し、配置校及び近隣のサポート校への企業情報及びキャリア教育関連の情報提供・啓発活動を行った。各学校における高校生のキャリア教育の推進が図られた。県内就職者の割合は減少傾向にあることから、中長期的な視点に立った全ての高校生に対するキャリア支援が必要である。
3-⑤	医師を志す高校 生支援事業	12,882	● 医学部医学科への入学者の増加を図るため、県内3つの拠点校が中心となり、医学科進学を目指す高校生の実力養成と教員の指導力向上等を図るための学習プログラム等を実施する。 ▶ 拠点校（青森高校・弘前高校・八戸高校）を中心に、各地区で高校生対象の「学力向上プログラム」やワークショップを実施。また、「指導力向上プログラム」では、合格者数の増加に向けて拠点校の教員が教員研修セミナーを受講し、教科指導力のさらなる向上を図った。 ▶ 本県出身の医学部医学科合格者は、平成20年度以降全体で概ね70人、弘前大学は概ね40人以上で推移。令和8年3月時点で全体で58人、弘前大学35人が合格（現役・浪人合計）。卒業者数の減少に伴い、医学部受験者数も減少傾向にあるが、この状況においても医学部医学科の合格者数55名前後を維持しているのは本事業の成果である。

施策3

「生きる・働く・学ぶ」をつなぐキャリア教育の推進

<指標>

No.	指標	基準値 (現状値)	目標値 (R10)	R6	R7	R8	R9	R10
① ③ ④	新規高等学校卒業者の県内就職希望者の割合	(R5) 68.7%	81.0%	71.6%	70.6%			
① ③ ④	中学校職場体験及び高等学校インターンシップの実施率	(R4) 中 40.4% 高 44.8%	中 98.0% 高 80.0%	(R5) 中 60.7% 高 59.6%	(R6) 中 65.3% 高 61.2%			
②	学校と地域・企業等をつなぐキャリア教育研修会定員充足率（職業人、地域コーディネーター、教育委員会職員、学校運営協議会委員等）	(R5) 100%	100%	95.0%	95.0%			
⑤	県内高等学校の医学部医学科受験者のうち、事業に参加していた生徒の人数	(R5) 78人	80人	87人	101人			

<今後の方向性>

- 高校生の県内定着に向けた、地元企業等との連携による中長期的な視点に立った全ての高校生に対するキャリア支援（キャリアサポートスタッフの配置、キャリア形成講座・研修会の開催等）
- 若者の県内定着の根底となる、幼少期からの郷土愛の醸成
- 専門高校における職業教育の充実や産官学の連携による地域の産業・生活を支える担い手（職業人）育成